

専修大学社会科学研究所 年報執筆要綱（参考）

ご提示にあたってひとこと申し添えます。最近月報投稿論文の中で書式上の問題がみられるものもあって、逆に社会科学叢書の各巻において独自の執筆要綱を設けているケースもあり、一定の執筆要綱を参考としてお示したほうがよいのではないかと事務局が判断しました。あくまでも一つの参考としてご利用いただければと考え、ここにご提示いたします。

また、月報もこの参考基準に準じていただくことにいたします。

I 原稿の様式

- 1) 原稿は、ワープロ・パソコン作成とし、横書きとすることが望ましい。
- 2) ジャンル別枚数（400字詰め原稿用紙）は以下のとおりである。図表・スペースは文字数に含む。句読点も含めて1桁1字（全角1字）、欧文および数字は1桁2字（半角1字）で作成する。
 - ① 論文、実態調査報告：60～100枚
 - ② 研究ノート、海外動向、研究動向：40～50枚
 - ③ 論潮、対談、回顧：50～80枚
 - ④ 書評、紹介：20～25枚
- 3) 図や表は、原則として当該箇所に挿入しておく。それができない場合は、挿入する箇所を明確にする。

II 記述の形式、資料・文献の引用について

- 1) 論文等の構成
 - ・節 第1節 第2節 第3節・・・あるいは、I、1などを用いても構わない。
 - ・項 (1) (2) (3)・・・あるいは、1、2などを用いても構わない。
 - ・以下は、① ② ③・・・
(a) (b) (c)・・・

*例えば、第1節、第2項を、I—(2)、1—2、1. 2、などと表記しても構わない。
- 2) 注
 - ・注方式／引用方式／両者の併用のいずれの方式でも、論稿のなかで統一されていなければ構わない。注番号は通し番号とし、1) 2) 3) と表記する。当該箇所の右肩にうつ。

*表記例

 - ① 政府の主要な優先課題は三つある。それは政治、経済、そして教育である¹⁾。
 - ② 「・・・(引用文)・・・」(山田[2004] p. 59)。
- 3) 図表
 - ・図表番号を、図1、表1のように示し、通し番号とする。各節ごとに番号をつけても構わない。
 - ・図表の下には、出所を明記する。自作の場合は「筆者作成」と記す。
- 4) 句読点、数字
 - ・句読点は「、」「。」、または「,」「.」を使用し、いずれかに統一する。
 - ・原則として数字は算用数字を用い、2桁以上は半角にする(例：×23 ○23)。
 - ・数量を表す場合は単位語(兆・億・万)をつける。カンマは入れない(例：5億6000万人)。

Ⅲ 文献の表記について

1) 引用・参考文献リスト

- ・引用・参考文献リストは、論文の末尾に、必ず掲載する。引用文献と参考文献の区別は著者にゆだねる。
- ・引用・参考文献リストでは、文献等を邦語・外国語に区別し、邦語文献は著（編）者名の50音順、外国語文献は著（編）者名のアルファベット順にならべる。

2) 邦語文献（著作）の表記

- ・原則として、著（編）者名・発行年（〔 〕で囲む）・タイトル（『 』で囲む）・出版社名、の順で記述する。

*表記例

玄田有史・中田喜文編 [2002] 『リストラと転職のメカニズムー労働移動の経済学』 東洋経済新報社。
辻勝次編 [2005], 『変容する職業社会ースキルとキャリアの社会学』 ミネルヴァ書房。
辻 [2005] では、新しい職業能力と職業経歴の実証研究が行われている。

3) 邦語文献（論文）の表記

- ・原則として、著者・発行年（〔 〕で囲む）・タイトル（「 」で囲む）・出版者・雑誌名・巻号、の順で記述する。

*表記例

大沢真知子 [1993] 「短大・大卒女子の労働市場の変化」 日本労働研究機構『日本労働研究雑誌』 No.405。

4) 外国語（英語）文献の表記

- ・原則として、著書のタイトルをイタリックにする。また、論文のタイトルを“ ”で囲む。

*表記例

Rawls, J. [1971] *A Theory of Justice*, Harvard University Press.

Hoyt, K. B. and High, S. C. [1982] “Career Education”, in Mitzel, H. E. et al. eds. *Encyclopedia of Educational Research*, The Free Press, New York, 5th edition.

5) 日本語、英語以外の言語の文献等の表記

- ・著者の責任において、それぞれの慣例に従い、適切な表記を用いることができる。

6) インターネット利用の引用、参考の表記

- ・URLのみならず、記載の見出しを記す。
- ・アドレスの後ろに参照した日付を記す。

*表記例

〇〇〇〇〇〇について <http://freesia.dreamblog.jp/> (2006/7/24)